

「森林・林業における現場実態改善を求める」 諸課題解消に向け厚労省、林野庁交渉を実施

～2025森林労連中央行動～



発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
電話 096-354-1150

発行者 加来尚貴
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

当面の行動

- 7月5日 共済理事会・代表委員会（東京都）
- 7月12日～13日 九州地本第21回定期大会
- 7月25日 全国代表者会議
- 7月26日 第21回全国大会（27日）
- 7月27日 森林労連全国大会
- 8月27日 林活議連九州連絡会役員会（長崎市）

匠の腕シゴト

「朝日とともに」

（撮影者 橋本暁寛：福岡分会）



「匠の一言」
朝日に照らされながら薬剤散布が始まります。

6月8日～9日、2025森林労連中央行動が東京都・林野会館外で開催され、全国の地方から39名が集し、九州森林労連から9名（直加盟労組1名、全山労7名、林野労組1名）が参加しました。



中村委員長(左)より課題解決に向け要求書手交

1日目は林野会館において結団式が行われ、冒頭、中村森林労連中央執行委員長より、「第217通常国会では山村振興法の一部改正、森林経営管理法の一部改正が審議され、それぞれ成立が図られた。今回の一部改正では、市町村の事務負担軽減として成立が課されたが、任務担当職員の確保、育成、そして林業労働者の処遇改善等の課題は、何ら解決しているものではない。こうした要請に基づき、先日、小泉進次郎農林水産大臣に森林労連として要請を行って

きた。森林経営管理法の一部改正では、衆参の委員会審議において、我々の要求を盛り込んでいただいた附帯決議が確認された。この附帯決議と委員会審議における政府答弁等を盾にして明日の林野庁交渉の中でも、積極的に対策を求めていきたい。また、組織強化に係る未組織林業労働者の組織化について、森林労連としても積極的に組織化に取り組んできた。現在の組織状況は4,076名である。この間も組織強化に取り組んできたが、なかなか成果が上がっていない状況であり、各地方段階でも取り組みの温度差がかなり大きい。組織として数の力は非常に大きいと認識している。地方森林労連へのお願として地域の林業事業者への声かけ、オルグを計画していただきたい。オルグには本部も積極的に向いていきたい。現場の声が多ければ多いほど組織としての力になるので理解と取組をお願いしたい。本中央行動で改めて今後

第27回参議院議員選挙推薦候補者一覧 (九州地本)

| 県選挙区 | 候補者 | 政党 | 県連合推薦 |
|-------|-------|-------|-------|
| 福岡 | 野田 国義 | 立憲民主党 | あり |
| | 川元 健一 | 国民民主党 | あり |
| 佐賀 | 富永 明美 | 立憲民主党 | あり |
| 長崎 | 深掘 浩 | 国民民主党 | あり |
| 大分 | 吉田 忠智 | 立憲民主党 | あり |
| 熊本 | 鎌田 聡 | 立憲民主党 | あり |
| 宮崎 | 山内佳菜子 | 立憲民主党 | あり |
| 鹿児島 | 尾辻 朋実 | 無所属 | 支持 |
| 沖縄 | 高良 沙哉 | 無所属 | あり |
| 比例区 | 候補者 | 政党 | 県連合推薦 |
| 全国比例区 | 小沢 雅仁 | 立憲民主党 | あり |

分会の取組強化をお願いします。

担い手確保支援事業等において一定以上の賃上げを行った事業者の優先配分を推進している。技能検定制度については、技能の評価を通じて従事者への処遇改善に繋がるよう業界団体による試験の実施を支援し、所管する厚労省と連携して受験勧奨に取り組んでいる。④主伐の増加により、森林の有する多目的機能を発揮させるためには再造林を確実にすることが重要。林野庁として支援、研修に取り組みしており、今後も一層推進していく。」と回答がありました。

その後、解団式を行い、鳴川森林労連書記長より本行動においての総括があり、中村森林労連中央執行委員長の団結カンパニーで全日程を終了しました。

2日目は、衆議院第一議員会館において、厚生労働省、林野庁との交渉を行い、冒頭、それぞれの機関に対し要請書を手交し、交渉に入りました。

厚生労働省交渉については、①林業における労働行政、②林業分野における外国人材の受け入れ、③労働安全対策、④振動障害防止対策、振動病対策の各課題で交渉を行いました。

林野庁交渉では、①「森林経営管理制度の取り組みについて」と題して京都大学教授の立花 敏氏（林政審会長）より、制度の取り組み状況として調査研究例の紹介や森林経営管理法改正による新たな仕組み、その期待される効果など講演がありました。

林野庁からは、「①川上川下までの施策を総合的に推進しており、課題解決の取り組みを支援する予算措置を行っているが、引き続き、取組強化のため予算確保に努めていく。②令和6年度に総合評価落札方式の評価項目において見直しを行い、地域貢献項目については、作業

員の地元雇用や地域の民有林管理への貢献等を評価することとし、より地域の事業者が評価しやすい方式とした。今後も、意見等を踏まえ地域林業の振興と地域の事業体育成に努めていく。③生産性の向上など、事業体における雇用管理の改善を促進するため、様々な研修や支援に取り組んでいる。

令和4年度からは、緑の雇用の優先配分を推進している。技能検定制度については、技能の評価を通じて従事者への処遇改善に繋がるよう業界団体による試験の実施を支援し、所管する厚労省と連携して受験勧奨に取り組んでいる。④主伐の増加により、森林の有する多目的機能を発揮させるためには再造林を確実にすることが重要。林野庁として支援、研修に取り組みしており、今後も一層推進していく。」と回答がありました。



森林労連が一枚岩になる



先日、ニュースで計報が流れ、日本中の多くの人が驚いたことであろう。その人物は戦後のプロ野球界を牽引してきた長嶋茂雄氏である。▼筆者の世代でも、現役引退後で、監督（2回目）のイメージであったが、それでも現役時代のプレーや、エピソードなどはよくテレビでも目にした。所属していた球団を応援している人でもそうでない人でも、彼の人物柄により多くのファンがいた。野球での成績は、年度でタイトルはあるが、歴代最多ホームラン等の記録保持者とかではないものの、記録よりも記憶に残ったプレーといっても過言ではないだろう。▼一つの時代が終わったとの声があり、確かにそのとおりかもしれないが、また新たなスターが誕生して時代を牽引していくのが時代の流れだ。長嶋さんに未来はどうか聞いたとき「勝つ、勝つ、勝つ」と発言があり「ん〜どうでしょう？」と言われないうちにいか

(SUKU)

第21回林野労組定期全国大会

代議員の決意表明

第21回林野労組定期全国大会が、7月26日、東京都内の連合会館において開催されます。九州地本選挙管理委員会において代議員選挙を公示し、各立候補者から決意表明が寄せられましたので、掲載をします。

なお、全国大会代議員は、全区4名、地区1名(熊本ブロック)の計5名となっています。



(全区)

中川秀樹(局)

物価高を上回る所得増加に向け取り組んだ結果、2年連続の賃上げとなりましたが未だ物価高にたどり着いていない状況や異常気象等による自然災害が続

いています。

一方、国有林野事業は、新規採用者が増加傾向にあるものの、退職者の増加に伴う業務量の増加や要員問題による労働加重など様々な問題を抱えています。

課題解消に向け、様々な取組の前進となるよう全国大会の討



(全区)

松本慎剛(局)

国有林野事業は一般会計に移行し13年目を迎えました。この間、私たちの職場では、要員不足からくる業務運営問題、賃金をはじめとする労働諸条件の改

善といった、各種問題の対策が求められています。また近年では、各種システムが改修される一方で、使用する側の負担が増している状況です。これら諸課題の解決に向け、運動展開の方向性を確認し、更なる組織体制の強化を図れるよう、本大会の討論に参加したいと思います。



(全区)

古村健児(局)

日本の森林に対する国民の期待は益々高まりを見せています。先導的な役割を果たす国有林に對しても、各分野から大きな期待がかけられています。

一方で職場環境を見ると安定した状況とは言い難く、現状は必要な要員数が確保できておらず、業務量だけが増加し、入ったばかりの新採や労働条件が盤石とは言えない再任用職員に大きな期待をかけるなど、一般会計の下での国の組織としては危機的な状況が続いていると思います。

さらに、累積債務問題をはじめ現場管理機能への不安など、多くの組合員から、将来に対する不安や不満の声が挙げられています。

一方、私たちの職場は、大きな課題となっている要員不足と増え続ける空席ポストなどの影響から、職員一人ひとりが担う業務量の増加から、多くの組合員より不安や不満の声が挙げられている状況にあり、喫緊の課題となっています。

全国大会では、この間の組合員の声を踏まえ、労働条件の改善など諸課題解消の前進に向けた運動の展開について、討論に参加したいと思います。



(全区)

歌野国光(局)

国有林野事業は新たな制度や法律に基づく、これまでにない新しい業務遂行の増加など、その使命・役割は多様化している状況にあります。

全区4名
地区1名

こうした組合員の声を基に、要員関連課題や労働条件諸課題の改善などに向けた取り組みが前進するよう全国大会の議論に参加します。



(地区)

平松大志(局)

国有林野事業は、業務の効率化を図るため各業務の電子化やシステムの構築が進められてい

ます。しかし現実には、各種業務が複雑化しており、逆に、業務量の増加を招いています。

職員数の減少が避けられない中では、各種業務が連携(紐付け)され、人為的なチェックが

不要、自動集計により集計作業が不要となるといった、真に効率化・省力化が可能となるシステムを構築するなど、抜本的な業務改善が必要です。また、システム化を進めるにあたり、全

ての職員が対応できているとは言えず、若年層や中途採用者等入庁間もない職員に継ぎがき

なりました。写真をご参照ください。

最後にありますが、多趣味な彼のもう一つの趣味はギターを弾くことであり、単独の弾き語り公演をご依頼の方は所属事務所である熊本南部分会までお問い合わせください。自転車で行けたら行きま

す。

た取組みが前進するよう討論に参加したいと思います。



あの人とあの人

「熊南不動のセンター」

能塚 博康さん(熊本南部分会)



能塚官房長官より新元号を発表

今回、熊本南部分会からは採用2年目の能塚博康さんをご紹介します。

能塚さんは業務グループで経営担当として、経営担当の大先輩方に囲まれながら業務に取り組んでいます。

そんな彼は学生時代陸上とバスケットで鍛えた脚力を活かして、熊本南部分会唯一の自転車通勤をしており、2年目と

なった今年度も雨に降られようが風に吹かれようがお構いなしに自転車通勤を継続しています。

分会では青年女性委員長でもあり、青年女性委員会の物販活動として行っているドリンク販売では、エスパー伊東が入っているのではないかと、というぐらいのポストンバッグにドリンクを詰め、自転車で仕入れを行ってくれるなど組合活動にも積極的に取り組まれています。

自宅待機つワガタたちの空調費等を捻出するため、お昼は前日に自宅付近のスーパーで購入した割引弁当をスポドリで流し込むという生活を送っており、熊本署で最も

メーデー 次代につなぐ平和の誓い

第96回連合人吉球磨地協メーデー祭典が相良村総合体育館で開催され、西山執行委員長を含め笹原、東、後藤4名で参加しました。

今夏の戦後・被爆80年に伴う「次代につなぐ平和の特別決議」また「次代につなぐ 平和の願い!みんなでつくろう 支え合う社会と確かな未来を!」のスローガンと共に採択されました。

約300名の参加に吉村協議会議長が「3月中旬の春闘に伴う賃上げに関する回答により昨年を上回り、効果も小企業においても波及している。また夏の参院選について候補者は決まっていなものの「熊本選挙区での勝利が重要」と2点に絞り挨拶がありました。

青年女性連絡会松舟委員長よりメーデー宣言文を、「組合があるからできる賃上げ行動、労働組合の意義また仲間づくりの推進を」と読み上げられ、戦後80年特別決議案においても「世界のよりよい未来のための行動と平和の誓いを新たに次代につなぐ平和の決議」と採択し、第1部吉村議長のガンバロー三唱で終演しました。第2部では屋内で各産別の催し物があり、バザー、ボウリング、お菓子釣り、ストラックアウトなどを楽しみ、屋外には屋台、ミニSLの乗車会もあり賑わいました。

【熊本南部分会：後藤通信員】

